

公園における犬のフン後始末向上の運動



【福田学区】

■世帯数：4,010 世帯

■人 口：11,059 人

■面 積：1.593 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ ゴミのポイ捨てと犬のフンの放置をなくすため、学区内の全公園でのパトロールのほか、福田コミュニティセンターにおいて愛犬家を対象とした「犬のしつけ教室」を実施。参加者数は約 60 人。
- ・ 小学生に「美しい公園」などをテーマにしたポスターや標語の作成を依頼し、これをもとに啓発看板を作成して公園に設置する。
- ・ パトロールでは青パト車に分乗して公園を巡回し、犬のフンやゴミを収集する。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、公共施設と動物病院にチラシを設置

【アピールポイント】

犬のフンを拾う珍しい試みに対して、幅広く多くの公的機関からの協力を得られたこと。

2 きっかけ、背景

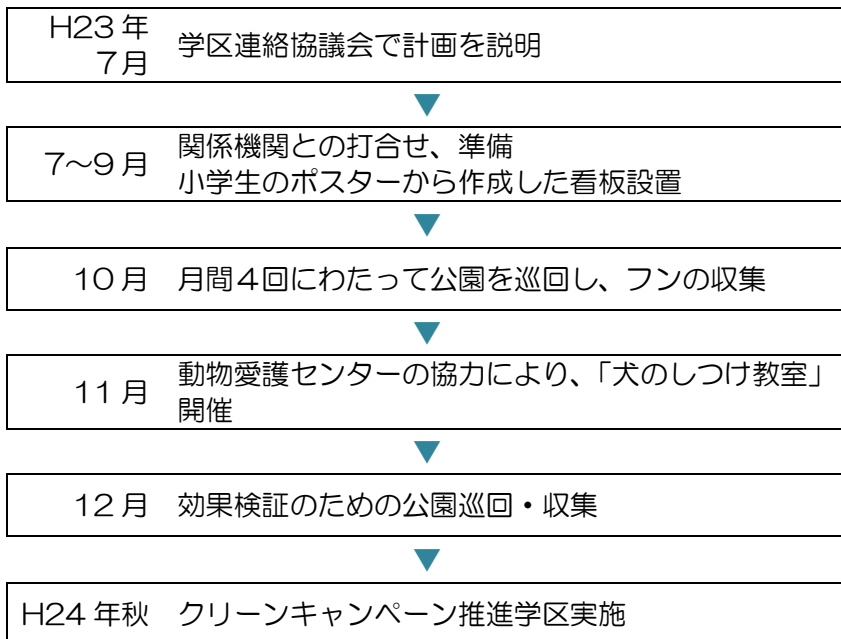
ゴミや空き缶のポイ捨て、分別ごみ排出のトラブルについての要望に対して、学区連絡協議会に作業グループを作り、できるところから焦点を絞って対応しようと活動を始めた。

3 実施の体制

運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、保健委員、子ども会、老人クラブ、南陽支所、港土木事務所、港保健所、福田小学校、港環境事業所 計約 50 人

4 実施のスケジュール



(1) 成果・効果

犬のフンの後始末に対する住民意識が高まった。学区連絡協議会で住民の要望に基づいた活動ができたこと。

(2) 苦労した点

住民の理解を得ること。「公園は犬の運動をさせるところ」との認識を理解してもらうことに苦労した。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続、活動資金の確保が課題。愛護会よりも幅広い活動を行う「町美ボランティア」の拡充・養成をしていきたい。

(4) メッセージ・アドバイス

町内会費、自治会費を出してくれている住民は、生活者であり、その声を取りあげることが大切です。やれるところから始めよう。